

# AKITA Biz Forest

あきたBizフォレスト TOPインタビュー

## TOP INTERVIEW

秋田ノーザンハピネッツ株式会社  
代表取締役社長 水野 勇氣 氏

東京都出身。国際教養大学一期生として来秋、在学中に全くのゼロから「プロバスケットで秋田を元気に！」の合言葉の元、2009年に運営会社を立ち上げる。リーグ統一後の現在もトップリーグで活動しながら、秋田ノーザンハピネッツは、名実ともに地域や県民に勇気を届け続けている。



## メリットもデメリットも表裏一体だから、どうできるかは自分次第!

**工藤** 現在、私たちは秋田で起業家を増やすための活動に取り組んでいます。秋田でビジネスをする上で、水野さんが思うメリットを教えてください。

**水野** まず「競争が少ない」と、「メディアに取り上げられやすい」ということは大きなメリットかと思えます。

**工藤** 「競争が少ない」というのは具体的にどういったことでしょうか？

**水野** 「競争が少ない」は競争相手の絶対数が少ない、またサービス提供するビジネスのジャンルが少ないことではないでしょうか。東京と秋田で同じことをやっても、東京ではビジネスの数、企業の数、アイデアの数が多くなってしまいますので、どうしても自分たちの想いや存在が埋もれてしまう可能性が高くなります。一方で秋田では埋もれてしまうという感じは低く、逆に大きなインパクトを残せる可能性も高いと思っています。競争が少ないと目立ちやすくなるので、メディアにも取り上げられることが多いです。その辺りを見極めてビジネス戦略も展開できれば、チャンスはとて大きくなっていくと感じます。

**工藤** 確かに競争が少なくメディアに取り上げられやすいことはメリットですね。

水野さんは注目を集めることも多いと思いますが、実際に意識していることはありますか？

**水野** 我々のビジネスは、プロスポーツとしての側面と普通のビジネスの側面があります。強いチームを作るためにはお金が必要になってくるし、そのためにはお金を稼ぐ必要があります。スポーツエンターテインメントのバスケットボールだけではなく、グッズ販売などは当然ですが、バスケットボールスクール、チアスクールなどの事業や、最近ではコッペパンの専門店の事業も行っています。そういった秋田に少ないジャンルの事業へのアンテナは高く持てるように意識しています。

**工藤** なるほど。では秋田でビジネスをする上で、あえてデメリットがあれば教えてください。

**水野** メリットで上げた「競争が少ない」ということは、切磋琢磨できる関係が少なくなりやすく、結果「刺激が少なくなりやすい」というデメリットになるのかな？と思います。

**工藤** メリットとデメリットは表裏一体ですから自分次第でもありますね。ちなみに水野さんから見て「刺激が少ない」という感

覚は具体的にどんな場面ですか？

**水野** 首都圏や東京でインパクトを残せる人は、地方都市とは比べ物にならないくらい多くのライバルと切磋琢磨していて、アイデアやビジネスの成熟度も極めて高い人がたくさんいますが中々目立ちません。しかし秋田では何か新しいことができるとすぐにメディアにも取り上げられ目立ちます。ただそれによって切磋琢磨して自分自身やアイデアを磨くという段階を飛ばしてしまっているにもかかわらず、自分の力を過信してしまう恐れもあります。その点では特に若い人が秋田にこもるだけでなく、積極的に最新の情報やテクノロジーなどの武器を首都圏に獲りに行くことも必要だと思っています。

**工藤** これもまた表裏一体でしたね。秋田の中にいるだけではなく、他の世界を知るという点においては、私も県外歴が33年あるので少しわかる気はしますが、水野さんは東京以外に海外生活の経験もありましたね。海外での経験が今につながっていることがあれば教えてください。

**水野** アメリカのシアトルとオーストラリアのブリスベンに留学しましたが、どちらにもプロスポーツが生活に根付いていて、

あきたBIZフォレストTOPインタビューは、秋田の起業家と企業環境を応援することを宣言いただいた100名以上の経営者の皆様を中心に、起業家に役立つ話題と起業家へのメッセージを対談形式でまとめたものです。

プロスポーツのある街の生活を体感できました。中でもスポーツによる交流、人と人のつながりを大切にしたいと思いました。その時の想いが原点となって、秋田にもプロスポーツがあればいいと思ったし、あるべきだと思ったのが、間違いなく今につながっています。

**工藤** 私は旅行でしか海外プロスポーツの雰囲気は体感していませんが、今想像するとプロスポーツが生活に良い影響を及ぼしている感じはありますね。今は秋田でもそれが普段から実感できるのはありがたいことですね。

次に水野さんにとって、こだわりや大切にしていることがあれば聞かせて下さい。

### クリティカルシンキング

**水野** 国際教養大学の初代学長の故中嶋嶺雄先生から学んだことを大切にしています。特に重要だと思うことを一言でいうと「クリティカルシンキング」です。国際教養大学はリベラルアーツですし、その環境で学んだからこそ、ネットで情報をいくらでも仕入れることができる現代の情報社会で、情報を正しく取捨選択できるように、教養を身に付けることが重要だと思っています。中嶋先生の情熱的な人柄や男気ある姿も尊敬していました。中嶋先生に出会えたこと、中嶋先生のもとで学べたことは人生の中で最も大きな出会いのひとつだと思っています。

**工藤** では最後に秋田の起業家の皆さんに向けてメッセージをお願いします！

**水野** 何かするにもやりたいかやりたくないかが一番重要だと思います。やりたいことがあるならば、自分が後悔しないようにチャレンジするべきだと思います。秋田にはまだまだチャンスがたくさんあります。これからの秋田を創っていくのはこれからの人ですし、若い起業家、若い経営者、若い力です。できるだけ失敗しないようにすることはもちろん必要ですが、失敗は意外とたいしたことないですし何とかあります。ぜひチャレンジしてみてください。

本日は貴重なお時間とお話しを本当に有難う御財増した。

インタビュー

合同会社ジェグルス(共同事業体ジェイワン) アントレプレナーコンシェルジュ 工藤 実

ライター 秋田大学2年 小林 恵大

企画 共同事業体ジェイワン(秋田市ビジネススタートアップ支援事業)



※撮影のために一時的にマスクを外しています。